

平成25年度 教育モニターからの教育情報(情報提供のみ) 6月分

月	住所	性	歳	テーマ及び情報内容	担当課
6	本巢市	男	60	<p><b>【教員の資質向上と指導力の向上】</b>                      近くの小学校4年生の担任(新採2年目の女性)から「市の教科研で『一つの花』の授業をするので、民俗資料館にある戦時中の資料を借りたい」と申し出があった。資料館の担当となってから、初めてのことである。市内外の小学3年生が見学に訪れることは多いが、これまで収蔵品を貸し出す機会はなかった。                      戦争体験者に当時の話をしてもらうことも、これまではできたが、その人たちが高齢化してきて難しい時代になってきている。これからは、地域の民俗資料館の収蔵品の活用が多くなっていくのだろうと思う。子どもたちの反応を目で確かめたくなくて、授業を見せてもらった。しかし、市教科研の授業では、直接触れられることはなく、廊下に展示されていた。それでも、子どもたちは、これまでに見たり、触れたりしながら物語の情景をつかんできたようで、父の思いを深く読みとった発言が多かったように感じた。                      2年目の若い先生が、児童のより深い学習理解のために、積極的に行動している姿は、児童たちも自分たちを大切にしてくれる頼れる先生であり、今までの先生方とは違った視点を持ち、新しい手法を見つけたしていく先生であろうと頼もしさを感じた。</p>	学校支援課 教職員課
6	安八町	女	60	<p><b>【いじめや不登校の未然防止と早期対応】</b>                      県教育行政の説明会にて、上記について重点項目にもあげられておることを理解した。その席で、現場での取り組みには温度差があるという意見があった。私も同感だ。そこで町内での取り組みを「民生委員と語る会」の場で質問した。                      学校規模や地域性によって取り組み方の違いは見られるが、主役の子どもたちが笑顔で元気に過ごしてほしいと願っている。隙のない眼差しを忘れないでいただきたいと思っている。そのためにも、小学校ではどの学年も35人学級を強く望む。先生方の精神的ゆとりが「いじめや不登校の未然防止と早期発見」に必ずつながると思うからだ。</p>	学校支援課